

## レコーディングの前準備とチェック

レコーディング前にやっておくこととして [ミーティング] があります。ミーティングは大変重要なことです。ここで話し合った内容によってはレコーディングの効率や、完成度が大きく左右します。では、何を話し合うかですが。

### 2-1 何曲録音するか

何を目的に、時間的に、予算的にもいろいろありますが、一般的に1~2曲が普通です。

### 2-2 どの曲を録音するか

何を目的にするのか（最終的にデモテープにするのか、CDを作るのか）が一番重要ですが、演奏しなれている曲の中で検討したほうがベストです。

### 2-3 曲を見直してみる

録音する曲が決まったら、その曲の構成、歌詞、アレンジなどをもう一度見直して見るとよいでしょう。普段リハやライブで演奏するのと違って録音して聞いてみると少し違和感がある場合があります。また、マルチ録音する場合はトラックのゆるすかぎり何パートでも録音できます。つまりリードとバックングを使い分けているGt. も別々に録音したり通常はいないパートを参加させたり、Vo. が、Cho. やハモリを唄ったりと生で演奏するのと全く別のアレンジで作れるということです。

次に [リハーサル (練習)] です。アレンジを変更すると曲の感じが変わったり、当スタジオといつもの練習場とが違いため普段の力が出なくなる場合があります。レコーディング用の練習も十分にされた方がよいと思います。

（当スタジオでは、レコーディングをする方の練習に関しては非会員の方も  
会員料金にてご利用できます。）

では、どのような練習をすればよいかというと

3-1 Dr. やBass. などのリズム隊の録音にはクリックを使うことが多いので、クリックに合せる練習が必要です。（いきなり合せるのは無理）Dr. に関しては、パンチ. インパンチ. アウトは通常不可能ですので一曲通して演奏する力が必要です。

その他のパートについては、途中からパンチ. イン、パンチ. アウトが可能な場合がありますが勿論、通して演奏出来ることにこしたことはありません。

3-2 Gt. やKey等、オーバーダビングするパートは、アレンジや音色、楽器の種類等を考え他のパートと重ならないよう細かく詰める必要があります。

3-3 本番と同じ状態で試し録りをしておきましょう。ラジカセでも結構ですがイージーパックを利用すると確実です。この時点でのアレンジのチェックや、音色のチェック等が出来るので、最後の仕上げりで後悔しないためにも是非やってみてください。